

熊本桜町バスターミナルの整備について



熊本市 都市建設局
都市政策部 交通政策課

熊本市の概要



令和元年10月1日時点

熊本市都市マスタープラン

(全体構想：平成21年3月策定)

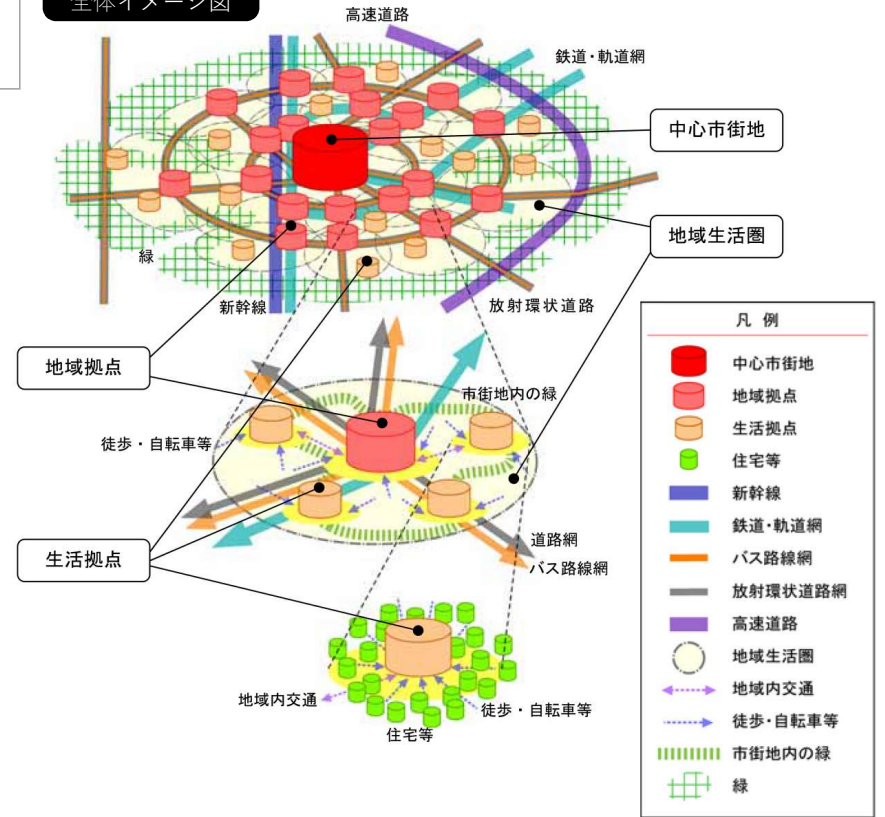
地域別構想：平成26年3月策定)

人口減少、少子高齢化を見据えた中で、コンパクトで持続可能な都市構造の実現を目指す。 ⇒ **多核連携型の都市構造**

都市の全体構成図

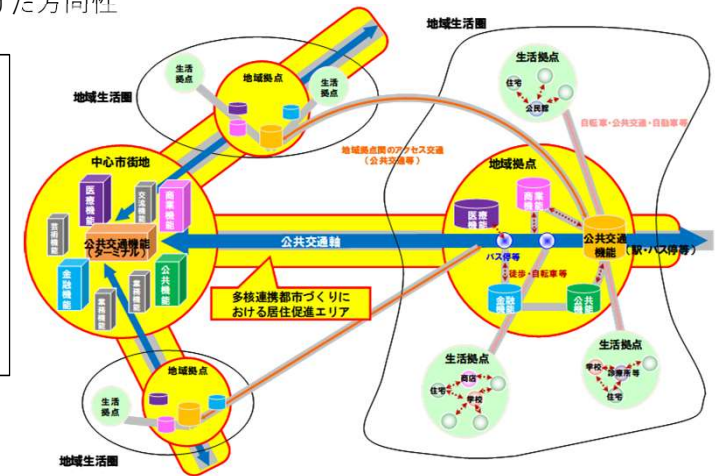


全体イメージ図



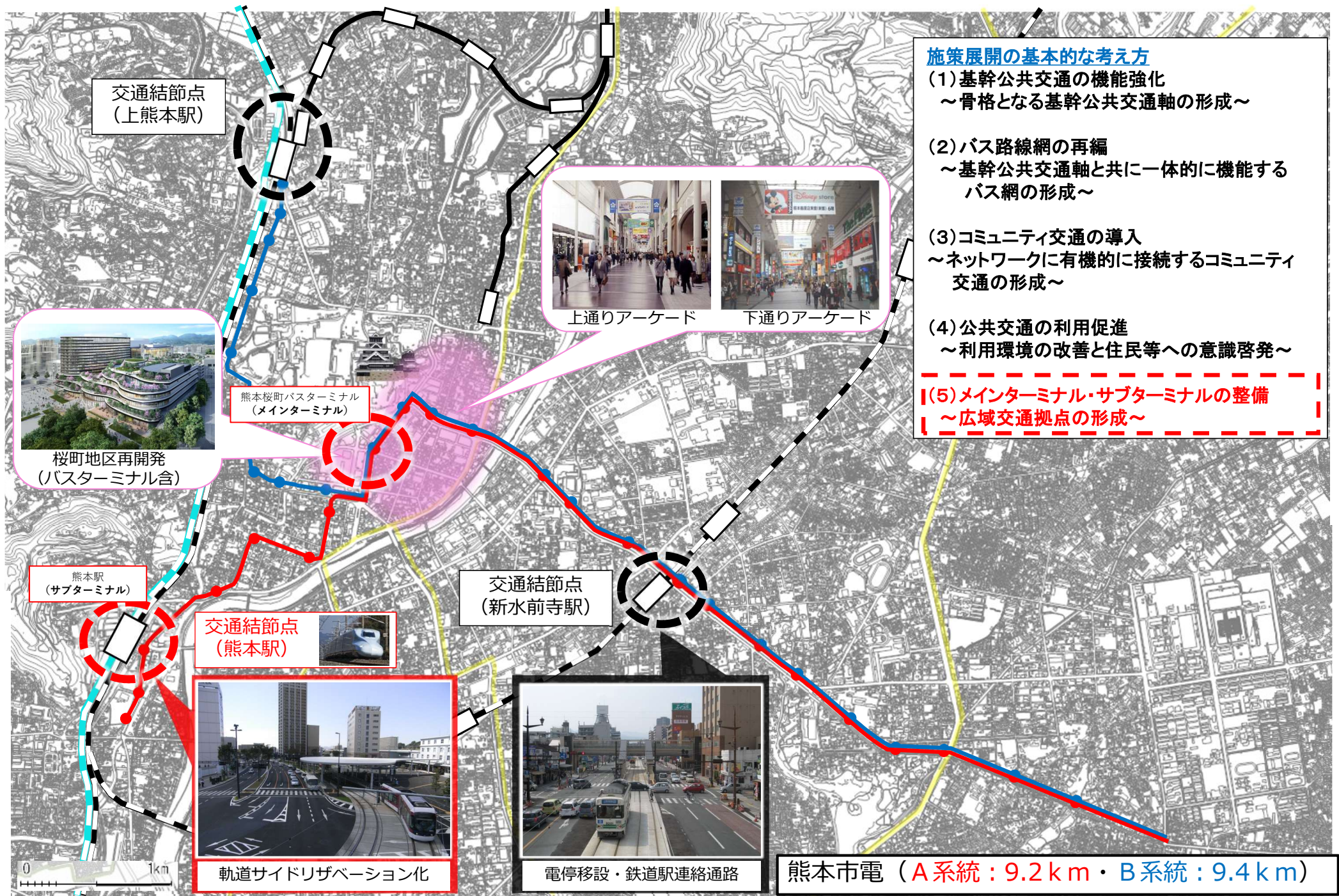
多核連携都市の実現に向けた方向性

- ① 中心市街地や15箇所の地域拠点への都市機能集積
- ② 利便性の高い公共交通で中心市街地と地域拠点を結ぶ
- ③ 公共交通軸沿線に居住を促進する



公共交通と一体となったまちづくりを推進することで、コンパクトで持続可能な都市構造の実現を目指す

交通結節点の整備



施策展開の基本的な考え方

- (1) 基幹公共交通の機能強化
～骨格となる基幹公共交通軸の形成～
- (2) バス路線網の再編
～基幹公共交通軸と共に一体的に機能するバス網の形成～
- (3) コミュニティ交通の導入
～ネットワークに有機的に接続するコミュニティ交通の形成～
- (4) 公共交通の利用促進
～利用環境の改善と住民等への意識啓発～
- (5) **メインターミナル・サブターミナルの整備**
～**広域交通拠点の形成**～

交通結節点
(上熊本駅)

熊本桜町バスターミナル
(メインターミナル)

桜町地区再開発
(バスターミナル含)

熊本駅
(サブターミナル)

交通結節点
(熊本駅)

交通結節点
(新水前寺駅)

軌道サイドルリザーベーション化

電停移設・鉄道駅連絡通路

熊本市電 (A系統: 9.2 km · B系統: 9.4 km)

熊本桜町バスターミナルの整備（メインターミナル）



「交通センター」
昭和44年開業、一日4800
便、一日40,000人
※開業当時、東洋一のバスター
ミナルと呼ばれていた



令和元年9月11日
「熊本桜町バスターミナル」オープン

※再開発事業の一部として整備

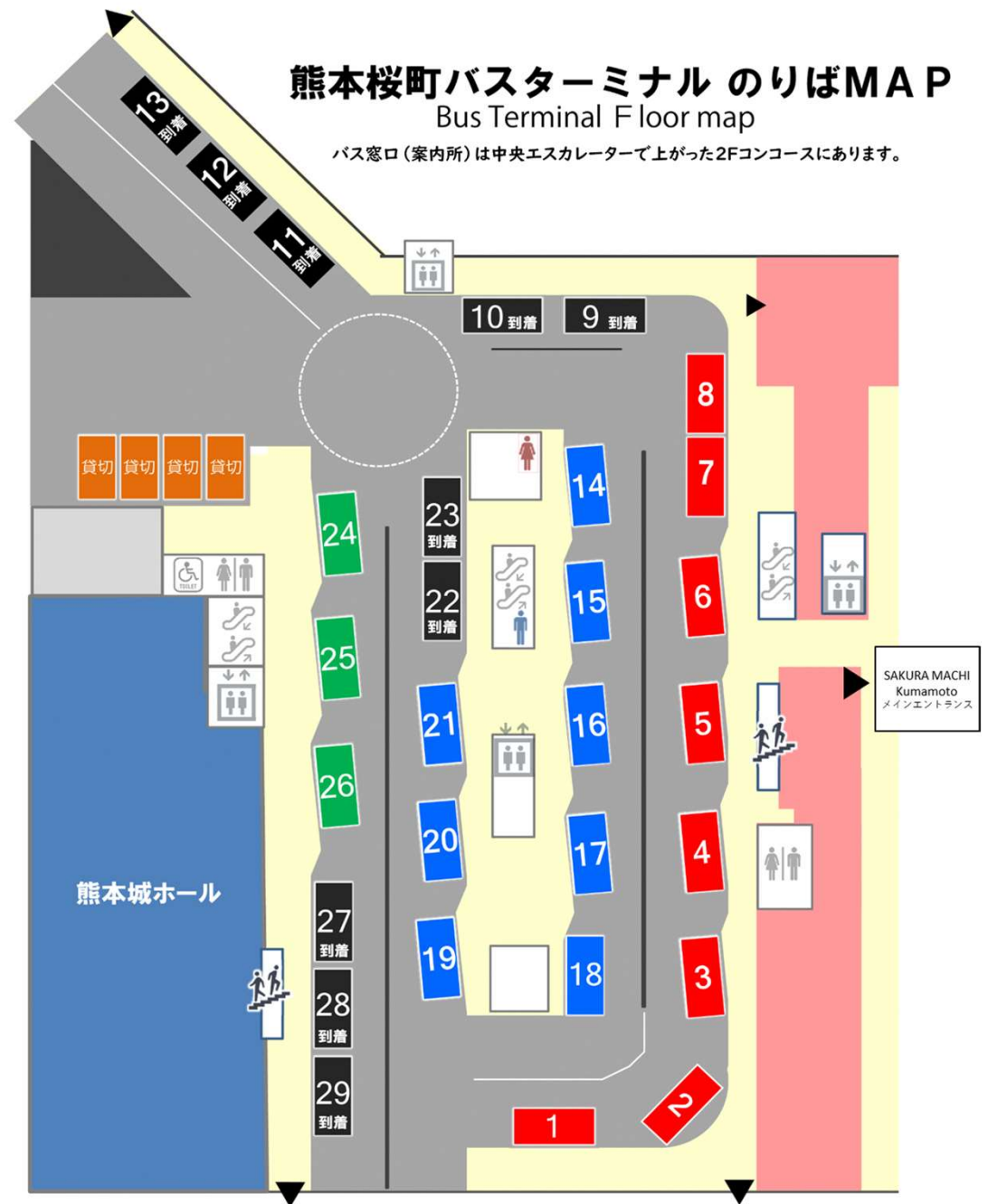
・商業施設	約150店舗(予定)
・バスターミナル	29バス(4,300台/日)
・公益施設(ホール)	最大3,000人収容
・ホテル	205室
・分譲マンション	159戸
・バンケット	
・シネマコンプレックス	9スクリーン
・駐車台数	832台

整備の特徴①

- 方面別に集約した、29バースの乗降場
- ホーム色分け等により、わかりやすい誘導



わかりやすい行先表示



整備の特徴②

- ホームドアの採用により、安全で快適な利用環境
- エレベーター等によるバリアフリー対応
- バスロケーションシステムモニターやベンチを配置し、待合環境の向上



乗降場のバスロケモニター

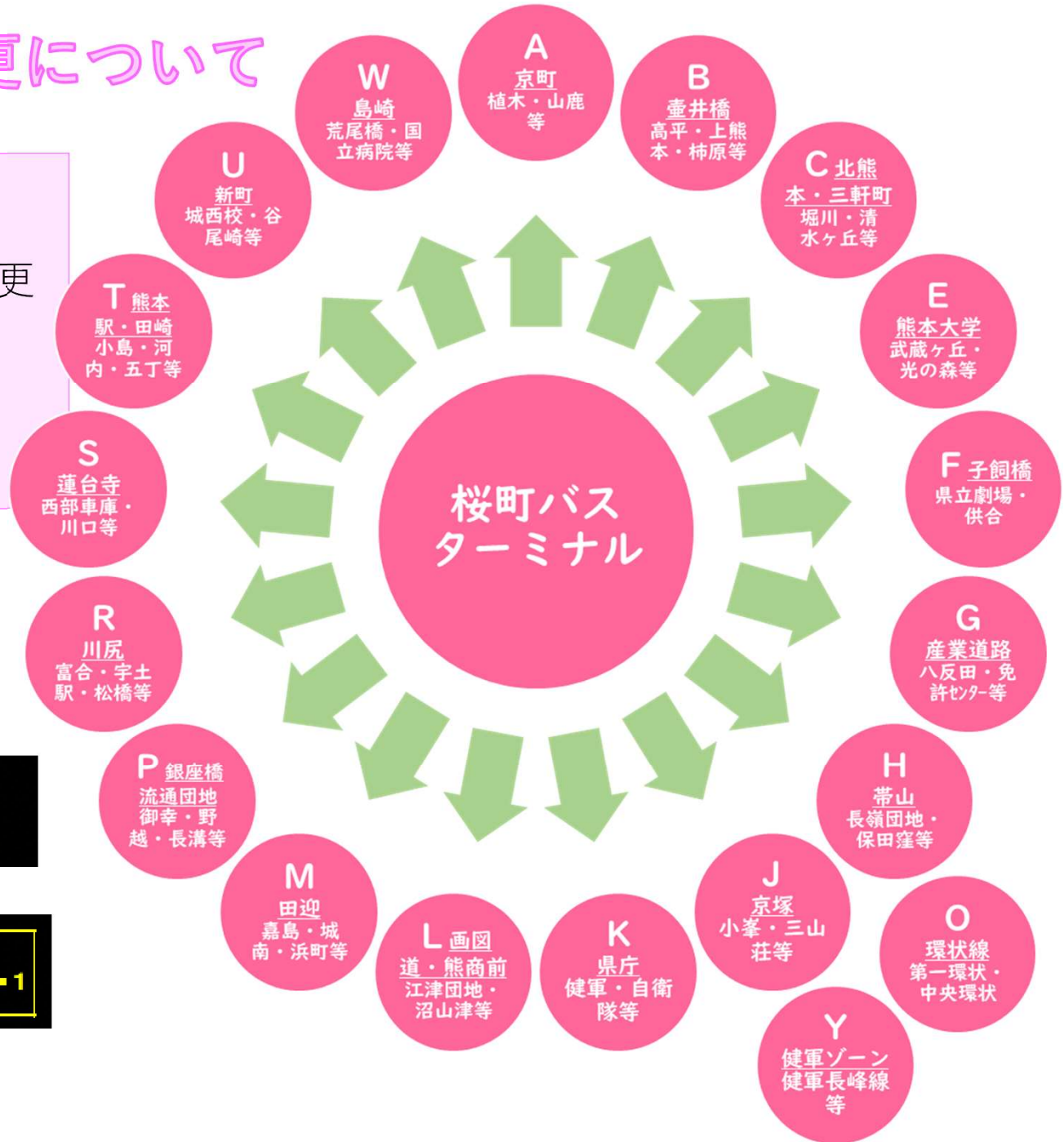


バスターミナルのイメージ

熊本桜町バスターミナル整備に関する施策①

■バスの案内番号変更について

- 従前の「漢字＋数字」を「アルファベット＋数字」に変更
- 熊本市北部方面を起点として、時計回りに「A」から附番



(旧)



(新)



熊本桜町バスターミナル整備に関連する施策②

■バス無料の日の実施

- 9月14日、商業施設オープンに合わせ、県下全域で全国初となる「バス・電車無料の日」を実施。
- 公共交通の利用促進と渋滞緩和が目的。

マチがつながる、未来へつながる

熊本県内バス・電車
無料の日

9/14(土)
1日限り

SAKURA MACHI
Kumamoto

GRAND OPEN!!

熊本の新たなランドマーク「サクラマチクマモト」がランドオープンする9月14日、ワクワクいっぱい街ナカを楽しむために、公共交通機関で、出かけてみませんか。

参加企業

BUS
熊本電鉄バス・熊本バス・熊本都市バス
九州産交バス(一般路線バス、コミュニティバスを対象)
※県外都市間高速バス、空海線(空海リムジンバス等)は対象外とする。

TRAM & KUMAMOTO DENTETSU TRAIN
熊本市電・電鉄電車は全系統
※雨天時に限り乗客が安全を気に中止になる場合があります。

■周知方法

バス・電車事業者	・車内広告 ・各社HP など
熊本市	・市政だより (市内全戸配布) ・市政だより (TV版) ・熊本市HP など

利用者の声

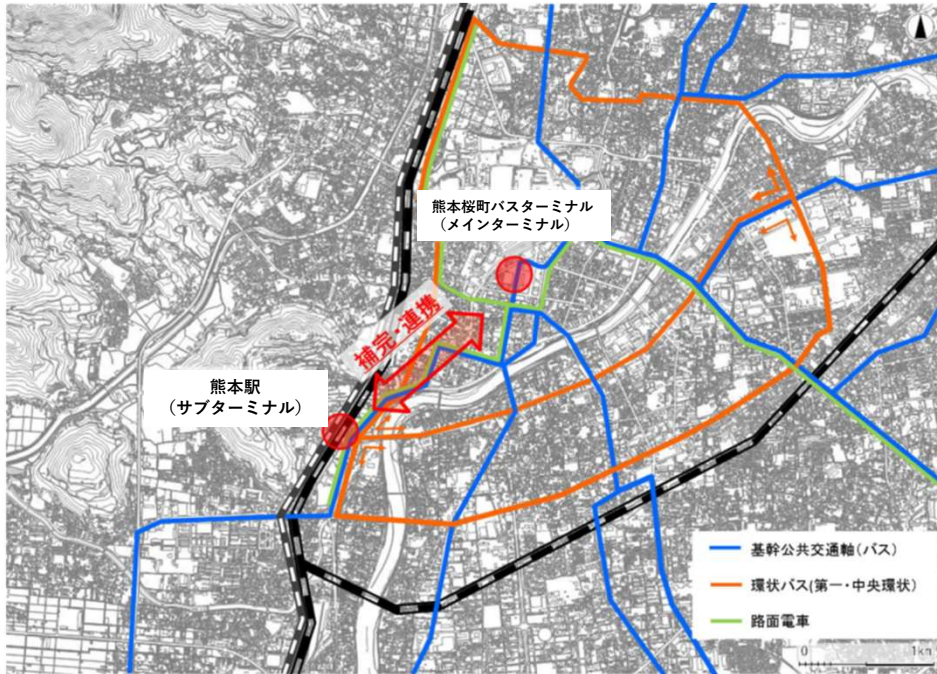


- ・ 1台目は満員で2台目で乗れた
- ・ たまにはバスも良いですね
- ・ いつもと違い大勢の乗客で驚いた
- ・ たくさんの人がバスに乗ったら渋滞も少なくなると思う

バス利用者数は通常の約3倍！電車利用者数は通常の約2倍！
市街地において渋滞緩和に効果有！

今後の取組

- 現在整備中の熊本駅については令和2年度中の完成を予定しており、メインターミナルとサブターミナルが相互に連携し機能を補完することで、熊本都市圏の公共交通ネットワークの核として機能を発揮すると考えている。



▲『メインターミナル、サブターミナルの整備』のイメージ



▲熊本駅白川口駅前広場全体イメージ